

### 穂高北小学校 *Hotaka north elementary school*

穂高北小学校は、約 750 人ととも児童数が多い学校です。学校教育目標「かがやく生命 広がる笑顔」と、PTA スローガン「子どもたちの笑顔のために」を掲げて活動を行っています。

PTA 活動は、長年行われている資源物回収に加え、本年度より運動着のリサイクル運動をスタートしました。初めての試みでしたが、多くの運動着が集まり、来年度に向けて中学校の制服もできないかなど、活発な意見が出ています。多くの児童・PTA 会員で協力しながら活動しているすばらしい学校です。



### 明北小学校 *Meihoku elementary school*

明北小学校 PTA は、本部・校外指導部・文化部・学級会長部で構成されています。市内で最小規模の小学校ですが、それ故大変まとまりのある PTA であります。資源物回収と親子 PTA 作業はその象徴で、地域の方々の応援をいただき児童・保護者・先生方が「明北小のために、子どもたちのために」と一緒に汗を流す活動です。PTA 講演会は、役員の方々が東奔西走し様々なジャンルの講師を迎え、一人でも多くの保護者が学校に足を運び、PTA 活動に参加してもらえるように試行錯誤しております。今後も「子どもたちのために」の PTA 活動を目指していきたいと思っております。



### 豊科北中学校 *Toyoshina north junior high school*

私たち豊科北中学校 PTA は昨年創立 30 周年を迎えました。特に特徴的なのは「歴代 PTA 会長会」という組織があり、そのような記念行事やバザーなどの際には歴代 PTA 会長や三役が結集し、サポートしていく仕組みがあることです。また豊科地区には小中学校が 5 校あり、それぞれの学校の PTA 三役が親睦会を定期的に行ったり、青パトなども各校で役割を決めて運営するなど現役役員や単 P だけでなく連携する力があることを感じています。地域の方々や PTA の OB のお力をお借りしながら地域ぐるみで子どもたちの成長に関わっていく運営を大切にしていきます。



### 堀金中学校 *Horigane junior high school*

本校は、昭和 22 年に設立し、本年創立 70 周年の記念すべき年にあたります。校歌の作詞は OB で小説「安曇野」を執筆した白井吉見であり、「新たなる時代の夜明け…」と始める歌詞に勇気付けられるとともに誇りを持って生徒たちは学校生活を送っています。さて、PTA は会員 323 人で組織され、学校の教育方針の下、各部ごと年度テーマを掲げてその達成のため各種事業を展開しています。今後も先生、地域の方々とともに、高い理想とあたたかい人間性を永遠に求める生徒の健やかな成長を願い活動してまいります。



# 安曇野市 PTA 会報

2016  
Winter

発行 安曇野市 PTA 連合会 / 発行日 2016 年 2 月 24 日 / 発行人 比田井 修 / 編集責任者 山田 達也  
事務局 南安曇教育文化会館内 Tel. 0263-72-2430 Fax 0263-72-6488

## 1 第 47 回関東ブロック PTA 研究大会横浜大会参加報告

平成 27 年 10 月 24 ~ 25 日に横浜市において第 47 回関東ブロック大会が開催されました。この大会は「子どもの生きる力【知・徳・体・公・開】想いをつなぐ教育文明開化～子どもたちと見守る未来への船出～」をテーマに 6 つの分科会が設定されました。市 P より比田井会長と藤原副会長が参加しました。



分科会報告：第 3 分科会 「徳『豊かな心』」では、「幸せな人生は人の役に立つこと～知的障がい者に導かれた企業経営から～」と題して大山 泰弘（日本理化学工業株式会社取締役会長）氏が講演を行った。日本理化学工業は黒板に文字を書く際に使用するチョークを製造している。従業員の 75% が知的障がい者であるという。程度が軽い障がい者を採用しているのかと思ったが、そのうち重度障がい者が 20% を占めるといふ。どのように作業を進めているのかと興味を持って聞いてみると、はじめはかなり大変だったとのこと。教える方法を多方向から考え、その人に合った指導方法、教え方を探した。

数字が読めない人には、軽量カップいっぱいになると丁度良くなるように軽量カップを工夫し、色の区別ができる人には色によって作業工程を教えていったという。大山氏は「ほめられる事、必要とされる事、役に立てる事で人は幸せを感じるのだ」と言う。まさにそのとおりであると思う。最近の世の中は自分の興味のあること意外は無関心となりがちである。なるべく他人と関わらないという生き方が社会とのつながりを希薄にしてしまっているのではないだろうか。子育ても同様であろう。自分の子育てを振り返って見ると他のお友達と同じことができなかったらいけないということに囚われすぎてしまい、その子の個性や存在そのものを見失ってしまっているのではないだろうか。子どもを正面から捉え、全てを認めながら子育てができるように自分自身成長していきたいと思った。  
(安曇野市 PTA 連合会 会長 比田井修)

## 2 第 57 回 長野県 PTA 研究大会飯水大会

平成 27 年 10 月 18 日、県内の PTA 関係者が一堂に会する長野県 PTA 研究大会が飯山市民会館にて開催されました。大会テーマ「『心で向き合えていますか』～家庭で、学校で、地域で、共に育つために～」のもと、県内各地からおよそ 600 名の会員が参加しました。大会では、青木十郎大会長、宮川直樹大会実行委員長のあいさつに続き、伊藤学司長野県教育長、足立正則飯山市長が祝辞を述べられ、その後三行詩コンクールの表彰、研究協議、講演会と続きました。閉会式では千野貴文副大会長による大会宣言があり、盛大な拍手で承認されました。

### ～参加者の感想～

石田智子さんによる研究協議「笑顔のコーチング」は、笑顔で周囲に働きかける大切さや、誰かの笑顔で自分も笑顔にさせてもらえるという、笑顔の魅力を学ばせていただきました。初めて会った方と実際に楽しい笑顔トレーニングをしたことは良い経験でした。とても親しみを感じ、次はいつ会えるかしらと楽しみに思えるようなコミュニケーションができてきました。(穂高北小学校 赤羽由加副会長)

研究協議の「笑顔のコーチング」はとても参考になりました。Teaching と Coaching が違うということや、信じて、認めて、任せるといふ話は、とても大切なことだと感じました。そして笑顔で接するということも、改めて自分自身ができていないことを認識しました。都合で後半は参加できませんでしたが、有意義な大会でした。  
(豊科南中学校 水谷博光会長)

ご協力、ありがとうございました。

### 編集後記

平成 27 年度の安曇野市 PTA 連合会会報・冬号を無事発行の運びとなりました。

2016 年を迎え、この季節になりますと各学校 PTA も次年度役員を選出もゴールが見えてきた頃かと思えます。あと数ヶ月で任期を終えるわけですが、1 年前の今頃を振り返ると瞬間の間のようにも感じたり、また一つ一つの出来事を思うと長かったようにも感じます。果たして何を実現できたのだろうかなどと振り返ることが多くなりました。1 年前より少しでも安曇野市 PTA 連合会のことを知っていただき、ご理解いただければ願うばかりです。

PTA 活動は一人の力や単 P だけでは対応しきれない、言わば地域連携の取り組みだと思えます。多くの立場や役割の方々のご協力のもとに成り立っている組織ですから、皆様のご参加が鍵になります。お子様の健やかな成長と学校教育環境のサポートするという目的に、皆様と一緒に取り組んでいけたらと思います。今後とも多くの皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

### 編集スタッフ

- 山田 達也 (豊科北中学校)
- 大堀 秀夫 (穂高東中学校)
- 関 靖典 (穂高南小学校)
- 伊藤 由美 (三郷中学校)
- 窪田 昭仁 (明科中学校)
- 黒岩 政樹 (堀金小学校)
- 水谷 博光 (豊科南中学校)
- 佐々木 良 (穂高西小学校)